

平成23年度 実施計画作成・事務事業評価（事後評価）シート

実施計画

1 基本事項

部等名	市民福祉部	課等名	こども課	記入者名	大野	内線	169
事務事業名	家庭児童相談等事業費		事業期間	平成 18 年度 ~ 平成 年度			
総合計画上の位置付け	基本方針	思いやりと温かさがはぐくむ健康・福祉のまちづくり					
	施策	母子（寡婦）・父子福祉の充実					
	細施策	相談・指導の充実					
根拠法令・条例、関連計画等	いずみ子ども育成支援行動計画（後期計画）						
予算細々目名		会計	款	項	目	細目	
家庭児童相談等事業費		01	03	03	01	03	

2 事務事業の目的（何のためにするのですか）

おおむね4か月児までの乳児のいる家庭を訪問して、子育てに関する情報の提供、乳児及びその保護者の心身の状況及びその養育環境の把握を行うほか、養育についての相談に応じ、助言その他の援助を行う「乳児家庭全戸訪問事業」を保健センターで実施している。

この事業により把握した、養育支援が必要な児童及びその保護者や、若年の妊婦等の妊娠期からの継続的な支援を特に必要とする家庭に対して、相談、助言指導、家事支援等を行う。訪問者は保健師、助産師、家庭相談員とする。

現在実施している事業であるが、要綱を整備し、県に対して第二種社会福祉事業の届出を行うことにより、次世代育成支援対策交付金の対象事業となる。

3 事務事業の概要

H22年度の事業概要	H23年度の事業概要・計画	H24年度の事業計画	H25年度の事業計画
気になる家庭を保健師、家庭相談員が訪問して、相談に応じ、支援を行った 年間訪問件数 19件 家庭相談員2人（月14日以内） 家庭相談員による相談件数 350件	年間訪問件数 50件 H23年6月から相談員3人に増員 経費内訳 家庭児童相談員報酬 4,022千円 家庭児童相談員費用弁償ほか 169千円	年間訪問件数 50件 家庭相談員3人	年間訪問件数 50件 家庭相談員3人

4 事務事業の対象・手段・意図

対象（誰・何に対して行う事業ですか）	手段（対象に対してどのような活動を行うのですか）
養育支援を必要とする家庭	子育てに関する相談に応じ、助言、指導、支援等を行う。
意図（活動により対象をどのような状態にしたいのですか）	
当該家庭の適切な養育の実施を確保する。	

事務事業評価（事後評価）

1 指標の推移

区分	指標名	単位	22年度実績	23年度目標	24年度目標	25年度目標	最終目標	
							年度	目標値
活動指標	① 訪問家庭数	回	19	50	50	50		
	② 家庭相談員による相談件数	件	350					
成果指標	① 児童虐待件数	件	15	14	13	12		
	②							

※ 活動指標・・・事業内容を示す数値(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など)

※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)

2 評価

有効性	成果指標を向上させる余地はないですか	
	<input type="checkbox"/> ない	理由
	<input checked="" type="checkbox"/> ある	保健師と家庭相談員間で定期的な協議の場を設け、支援内容の充実を図る。
	廃止・休止した場合の影響はありますか	
<input checked="" type="checkbox"/> ある	理由	
<input type="checkbox"/> ない	支援を必要とする家庭は訪問回数を重ねることが必要であり、乳幼児全戸訪問事業だけでは不十分である。	
効率性	成果指標を下げずにコスト削減の余地はないですか	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	養育支援を迅速に行うためには、現体制が必須である。
	類似事業の有無と統合の可能性はないですか（市以外の取組含む）	
	<input checked="" type="checkbox"/> ない	理由
	<input type="checkbox"/> ある	専門知識を有する保健師と相談の専門員である家庭相談員が同行訪問する事業は他にない。
その他	市と受益者との負担割合は妥当ですか（受益者負担がある場合に記入してください）	
	<input type="checkbox"/> はい	理由
	<input type="checkbox"/> いいえ	受益者負担なし
他の市町村では、実施している事業ですか		
平成22年度は、鹿児島市、阿久根市、西之表市、日置市、霧島市、始良市及び9町村が実施している。		

3 今後の方向性、改善案等（一次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現在実施中の事業で、第二種社会福祉事業開始届出をし、次世代育成支援対策交付金の対象事業として国からの交付金を事業費の一部とした。

4 今後の方向性、改善案等（二次評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	国の次世代育成支援対策の交付金事業として継続とする。

5 今後の方向性、改善案等（最終評価）

今後の方向性（総合評価）	方向性の理由、改善案等
<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合・縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	二次評価と同様に継続とする。